

様式 5

平成30年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成30年7月18日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 董 彦 文

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学会参加)
事業名	国際学会 2018 International Conference on Management and Operations Research (ICMOR 2018)の参加
事業実施期間	平成30年7月7日～平成30年7月9日
成果の概要	<p>2018 International Conference on Management and Operations Research (ICMOR 2018)は2018年7月7日～7月9日中国・北京市にて開催された。この大会に参加し、"An Investigation on Relationship between Workers' Performance in Cell Production and their Five Factor Personality"を題目とする研究発表を行った。</p> <p>セル生産の効率と作業者の適性との関連を調べるために、セル生産に関する実験を行い、また作業者の適性を評価するために、Five-Factor Model (FFM)に基づくアンケート調査 FFPQ-50 を実施した。FFPQ-50 アンケート結果に対して因子分析を行い、作業者の適性として内向性⇔外向性、分離性⇔愛着性、自然性⇔統制性、非情動性⇔情動性、現実性⇔遊戯性を抽出した。この5つの適性と作業時間との関連を調べた結果、作業者の非情動性と遊戯性が作業効率に有意な正的相関をもち、作業者の内向性が作業効率に寄与する傾向にあることが明らかになった。</p> <p>本研究は、中国南昌大学管理学院祝琴教授との共同研究を通して得られた成果の一つでもある。</p>